



「みんなの幸せのために」
下郷町立江川小学校
校長 大井川 英敏

ご縁により、下郷町立江川小学校に赴任して参りました。南会津での勤務は初めてですが、子供たちや教職員の皆様をはじめ、保護者・地域の皆様が心温かく迎えてくださり、日々、ご支援を賜り教育活動を実施することができておりますこと、心より感謝申し上げます。

私は、地域の宝である子供たちが常に主役となり、明日も学校へ来て学びたい、友達と共に過ごしたいと誰もが思える学校、さらには、教職員の皆様、保護者・地域の皆様も学校へ行きたいと思う学校を実現します。そして、すべての方々の子供たちの伴走者となり、南会津が目指す【自立と共生】～南会津がつむぐ『南会津ならではの教育～をふまえ、本校の教育目標である「地域の未来を切り拓く 自立した児童」を育成したいと思えます。そのために、常に子供たちを第一に考え、明確な学校経営・運営ビジョンを示し、全教職員がそれぞれの持ち味を生かして協働・連携できるチームを作るとともに、家庭・地域・学校が一つとなって「地域とともにある学校」をつくっていきます。今後も、子供たちのために、自分の能力のすべてを発揮して学校経営にあたって参りますので、引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。



「子供につながる仕事」
南会津町立伊南小学校
教頭 藤 実和

私が教頭になったと知り、今までお世話になった先生方や地域の方々、友人等は驚いていたようです。それは、これまでの私は、子供達に直接関われる担任という仕事にやりがいを感じ、「絶対に管理職にはならない」と言い続けていたからです。私は、採用が遅かった為、退職まで学級担任でいるつもりでした。教頭昇任審査も今までずっと受けずにいました。

しかし、昨年7月21日、教頭昇任審査を受けることを決めました。最後に背中を押してくれたのは、元同僚で今は教頭をされている方の言葉です。「子供の指導をされている担任や事務、支援員などの教職員の指導や地域対応など子供との距離は少し遠くなりますが、子供につながる仕事と思い、取り組んでください。」

教頭としての全ての仕事が「子供につながる仕事」と思えばどんなことでも誠意をもって取り組めそうな気がします。幸いよく知っている伊南小学校で、校長先生をはじめ教職員の方々や保護者・地域のみなさんに支えていただいて、日々の業務を行うことができています。

これからも教頭の仕事は「子供につながる仕事」ということを忘れず、自分にできることを精一杯やっていたいと思います。



「新任教員として」
只見町立只見中学校
教諭 熊谷 涼

4月1日、只見中学校に新任教員として着任し、身の引き締まる思いでこの春を迎えました。初めての土地、初めての職場、そして初めて迎える生徒たち。すべてが新鮮であると同時に、大きな責任と緊張感に包まれたスタートでした。教壇に立つこと、生徒たちの前で言葉を発することさえ、当初は手探りの連続で、不安を抱える日々でした。そうした不安を和らげ、何度も私を励ましてくれたのは生徒たちの朗らかな挨拶と澄んだまなざしでした。

日々の何気ないやり取りや、真剣に学びへ向かう姿勢、仲間と協力しながら活動に取り組む様子にふれるたびに、緊張は次第に喜びとやりがいへと変わっていききました。学校生活を過ごす中で生徒から学ぶことは多く、「教育とは、教え・導くだけではなく共に成長を遂げることなのだ」と改めて教員の魅力を実感する日々を過ごしています。

まだまだ初めての出来事に戸惑ってしまう未熟な私ではありますが、学校が生徒にとって安心できる場所となり、仲間とともに学び、悩み、成長できる空間となるよう、生徒一人一人の個性や思いに寄り添い、温かな学校づくりに全力で取り組んで参ります。



「新採用職員として」
檜枝岐村立檜枝岐中学校
栄養技師 八代 奏音

私の出身はいわき市です。採用試験に合格したとき、「初任地が会津の秘境でも嬉しい」と周りに話をしていたら、檜枝岐中学校勤務となりました。地元から片道200km以上離れた檜枝岐村では、先生方や村の方々がとても温かく、恵まれた環境の中で業務を行うことができています。毎朝6時に、村内の放送で「夏の思い出」が響き渡ったときは、大変驚きましたが、そのような生活にも慣れてきました。

4月の給食がスタートした日、子供たちが給食をほとんど残さず食べてくれたことに、とても驚きました。苦手な食べ物にもチャレンジする姿や、給食指導を素直に聞き、黙々と行儀よく食べている姿に感動しました。小学1年生から中学3年生と一緒にランチルームで給食を食べている環境は、給食指導をする上で難しく感じることもありますが、上級生が下級生に教えてあげている姿を見て、素敵だなと感じています。

毎日の給食を安心安全に提供できるよう、そして、檜枝岐村の子供たちが中学卒業後も正しい食生活を送ることができるように、自覚と責任をもって努めていきたいです。